

 高知県立大学「県民大学」学生プロジェクト

立志のたまご

令和6年度 後期募集要領

令和6年8月1日

高知県立大学地域教育研究センター

地域に学び、地域で育つ学生たちの教育プログラム

「立志社中」「立志のたまご」とは

本学は「県民大学」というスローガンを掲げています。県民にとって親しみやすい大学、県内の地域が抱える課題に県民と協働して取り組む大学、地域再生の核として、生涯学習の拠点として「知」を「地」に活かす大学など、「教育、研究、社会連携」のすべてにおいて「県民とともにある大学」という想いを込めています。

地域の活性化を目指す学生たちの主体的な取り組みである「立志社中」は、「県民大学」に位置付く事業です

高知県は多くの有為な人材を生み、若者たちは世界へと飛び立っていきました。日本で、そして世界で通用する人材を本学で育てたいという想いを込めて、坂本龍馬の「亀山社中」（後の海援隊）と、板垣退助らの「立志社」をあわせて、本事業を「立志社中」としました。「社中」には、「仲間」「結社」という意味があります。つまり、「立志社中」とは、「将来の目的を定めて、これを成し遂げようとする学生グループ」という意味です。

「立志社中」とは

- 地域の課題に高い関心を持った学生が、地域の方々と協働して取り組む。
- 学生が地域の方々と一緒に活動することを通じて、学内だけでは学べないことを学ぶ。
- 大学と地域が共同して、よりよい地域づくり・人づくりにつながるしくみをつくる。

の3つの目標を掲げ、地域と関わる演習、フィールドワーク、研究室活動、学生活動等の実績を土台にしながら、地域活性化に取り組む学生主体のプロジェクトを公募、審査し、支援するものです。

募集テーマは、まちづくり、中山間地域の活性化、地域文化の継承・再生、産学連携、地域医療・福祉、小・中・高大連携、行政・企業・県民のネットワークづくり、などです。

本事業の趣旨を理解し、これまで取り組んできた地域での活動を発展させた学生チーム、この機会に新たに地域課題にチャレンジしたい学生チームなど、学部、学科、研究室を超えたさまざまな学生チームの参加を期待しています。

「立志のたまご」とは、次年度に「立志社中」の新プロジェクトとして申請することを目指し、プロジェクトの立ち上げ準備期間を大学が支援するものです。

令和6年度「県民大学」学生プロジェクト「立志のたまご」募集要領

1. 募集するプロジェクト

域学共生を目的として、「地域文化の振興・再生や地域の課題解決」のために意欲をもって取り組む本学学生グループが、主体的に企画・実施する以下に掲げる取組みであつて、かつ、成果が見込まれるプロジェクトを募集します。ただし、政治、宗教、営利を目的とした活動は除外します。なお申請時において対象とする地域や課題解決の手法が必ずしも決まっている必要はありません。

- (1) 学部学科を超えた横断的な取組み
- (2) 行政・企業・県民のネットワークづくり
- (3) 中山間地域をはじめ地域活性化のための活動拠点づくり
- (4) まちづくりや地域おこしなど地域経済の活性化につながる取組み
- (5) その他、地域と連携した活性化への取組み

2. 募集内容および支援内容

(1) 概要

①対象となる活動

- ・ 本学の教員、学生等で構成される教育研究活動
- ・ 本学教員の指導のもとに、主体的に活動する学生グループの活動
- ・ 行政やNPO等の支援を得て、主体的に活動する学生グループの活動
- ・ その他、地域活性化に取り組む学生グループの活動

②応募資格

域学共生を目的とした活動に対して意欲をもって取り組む本学の学生グループ

※ただし、各グループには1名以上の担当教員を含むものとします

③支援内容

- ・ 1プロジェクト5万円を限度とする活動経費の助成
- ・ 活動の相談、指導・助言、広報などの活動支援
- ・ 能力開発、スキルアップのための講座の実施

④対象となる経費

- ・ 旅費 交通費（JR・路線バス等公共交通機関運賃、自家用車ガソリン代、レンタカー借上代及びガソリン代等）および宿泊費

⑤対象とならない経費

- ・ 旅費以外の全経費 消耗品費、賃借料、通信運搬費、役務費、印刷製本費、研修費、コピー代、人件費、飲食費（手土産、試作・交流等に係る経費を含む）等

⑥採択件数

5 件程度

(2) 助成期間

採択が決定した日から令和7年2月末日までの活動を対象とします。

(3) その他

経費の使用は、採択後に公表される「立志のたまご活動助成金執行マニュアル」にもとづいて執行してください。

3. 募集説明

立志社中事務局による募集説明を実施します。応募をお考えの方は、下記の期間にご参加ください。

参加者はメールで、参加者の学部・学年・氏名・チーム名(決まっていない場合は記載なしでかまいません)そして、説明希望日時をご連絡ください。

【連絡先】 risshi@cc.u-kochi.ac.jp

(1) 期間 令和6年9月9日(月)～9月12日(木)

(2) 時間 上記日程すべて、9時00分から16時00分の間で30分程度

(3) 会場 永国寺キャンパス地域連携棟3階 B306

※各チーム1名以上が必ず参加してください。

4. 応募方法

(1) 応募方法

応募書類(①～③)に必要な事項を記入・押印し1部提出してください。併せて提出書類データは、UOKLMS 立志社中2024コースの下記の場所に提出してください。

(URL : <https://uoklms.cc.u-kochi.ac.jp/course/view.php?id=6372>)

(2) 応募期限

令和6年9月20日(金)17時00分まで

(3) 応募書類の配布場所

UOKLMS の下記のページからダウンロードしてください。

(URL : <https://uoklms.cc.u-kochi.ac.jp/course/view.php?id=6372>)

(4) 応募書類の提出先

地域教育研究センター「立志社中」事務局(永国寺キャンパス地域連携棟3階)

受付時間 8時30分～17時00分(土日・祝祭日を除く)

(5) 応募書類の取扱い

提出された応募書類および参考資料等は返却しません。また、必要に応じて複写し、資料として活用します。

(6) 事前ヒアリング

立志社中事務局による事前ヒアリングを実施し、応募書類の内容について確認します。ヒアリング希望受付締切日までに応募書類（記載途中でもかまいませんし、当日確認も可能です）を添えて「立志社中」事務局にメールでご連絡をください。助成対象となるかどうかの相談も受け付けますので、ご参加ください。

受付締切日 令和6年9月12日（木）17時00分

ヒアリング対応可能日程すべてと開催希望キャンパスをお知らせください。所要時間10～30分程度

開催日程 令和6年9月17日（火）、9月19日（木）

※実施場所・時間は個別調整

【連絡先】 risshi@cc.u-kochi.ac.jp

5. プロジェクトの審査

(1) 審査方法

応募されたプロジェクトの審査は、立志社中運営委員会による書類・面接審査を実施し、採択プロジェクトを決定します。なお面接審査は令和6年9月29日（日）午後に行います。実施時間は応募締切後にご連絡します。

(2) 審査項目

「立志社中」の趣旨及び本学の取組みに沿った提案の中から、以下の審査項目に基づいて審査します。

継続性	地域等との関わりを持ち、それぞれの地域特性を活かし、地域に根ざした継続的活動プログラムであるか。
独自性	取組みのテーマや方法がユニークで特色があり、創意工夫がみられるか。
実現性	事業計画・運営組織など、事業としての実現可能性を持っているか。実行可能な方法や体制、適切な予算で事業立案されているか。
発展性	採択を受けることで、団体や活動自体が発展する可能性があるか。また将来的に「立志社中」プロジェクトに発展する意欲が見られるか。

(3) 審査結果の公表

令和6年9月30日（月）15時頃

※代表者へのメール通知および地域教育研究センターのホームページで発表を

行い、後日文書で通知します。

(4) 審査結果の開示について

審査結果は、高知県公立大学法人が管理する公文書の開示等に関する規程にもとづく開示請求があった場合には、開示の対象となります。なお、個人を特定するもの、その他正当な利益を害すると認められる情報は非開示となります。開示・非開示の判断は、規程に基づき客観的に判断します。

高知県公立大学法人が管理する公文書の開示等に関する規程
(<https://www.kppuc.ac.jp/regulations/rule/41.html>)

6. 採択までのスケジュール

募集説明会	令和6年9月9日(月)～9月12日(木) ※希望日時をご連絡ください。
事前ヒアリング	令和6年9月17日(火)、19日(木) ※受付締切：9月12日(木)
募集締切	令和6年9月20日(金) 17時00分
面接審査	令和6年9月29日(日) 午後
審査結果の公表	令和6年9月30日(月) 15時00分頃

7. 採択後について

(1) 活動説明会

事務局から採択されたプロジェクト(以下「採択チーム」という)に、経費の使用方法やその他の連絡事項の説明を行います。採択チームの代表者と会計責任者は必ず出席してください。

日時 令和6年10月1日(火)以降で個別に調整します

会場 永国寺キャンパスまたは池キャンパス ※日時調整時に決定します

(2) 立志社中中間報告会

次年度の立志社中プロジェクト応募の参考に、各チームから1名以上、今年度の中間報告会(令和6年11月3日(日)予定)に参加してください。

(3) 活動成果報告

採択チームは、事業が終了した場合は、速やかに報告書等を事務局に提出するとともに、活動成果報告会(令和7年3月2日(日)予定)に出席し、進捗状況を報告し、経費の使用状況について報告する必要があります。詳細については、決まり次第、採択チームの代表者へアナウンスを行います。

(4) 代表者会

採択チームの代表者及び会計は、各チーム間の情報交換や事務局との連絡調整のため、代表者会に出席し、各チームのメンバーに共有する必要があります。代表者会は2ヶ月に1回程度開催することとし、実施日時については各チームの代表者と調整のうえ、決定しますので、必ず出席してください。

(5) オフィスアワー

池キャンパスでも、立志のたまごに関する質問や相談を直接受け付けることができるように「オフィスアワー」を行うことを予定しています。希望されるチームは、前日10時までに事務局までご連絡ください。できる限りご希望に添えるよう日程調整させていただきます。

(6) その他特記事項

① 課外活動について

採択後の地域活動に際しては、毎回必ず、「学外外活動届(立志のたまご)」にて届け出てください。※事前に承認されていない活動は認められません。

② ZOOM アカウントの貸出について

地域連携課が管理しているビデオ会議システム「Zoom」のアカウントを担当教員へ貸し出すことが可能です。打ち合わせを行うために貸し出しを希望する場合は、担当教員経由で「立志社中」事務局までご連絡ください。ただし、貸し出せるアカウントは1つのみのため、利用日時を調整したうえで貸し出します。

③ ポケット Wi-Fi の貸出について

地域連携課が管理しているポケット Wi-Fi を担当教員へ貸し出すことが可能です。地域等での活動の際に使用するため貸し出しを希望する場合は、担当教員経由で「立志社中」事務局までご連絡ください。ただし、1台のみのため、利用日時を調整したうえで貸し出します。

④ 新型コロナウイルス感染症拡大防止について

新型コロナウイルス感染症の位置づけは、令和5年5月8日から「5類感染症」になりましたが、高齢者等と接する機会のある地域での活動については、以下の厚生労働省の「基本的感染対策の考え方」を参考に、活動を行っていただくことを推奨いたします。

基本的感染対策	考え方
マスクの着用	個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本。一定の場合にはマスク着用を推奨

手洗い等の手指衛生	政府として一律に求めることはしないが、新型コロナの特徴を踏まえた基本的感染対策として、引き続き有効
換気	
「三つの密」の回避 「人と人との距離の確保」	政府として一律に求めることはしないが、流行期において、高齢者等重症化リスクの高い方は、換気の悪い場所や、不特定多数の人がいるような混雑した場所、近接した会話を避けることが感染防止対策として有効（避けられない場合はマスク着用が有効）

引用ページ URL : <https://www.mhlw.go.jp/stf/corona5rui.html>

8. 問い合わせ先

応募にあたっての相談・質問は何でも承ります。お気軽にご連絡ください。

地域教育研究センター「立志社中」事務局 担当

〒780-8515 高知市永国寺町2番22号 永国寺キャンパス地域連携棟3階

TEL 088-821-7125 FAX 088-821-7126 Mail risshi@cc.u-kochi.ac.jp